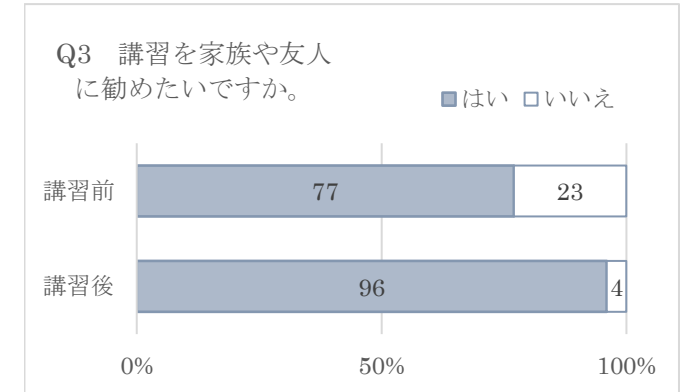
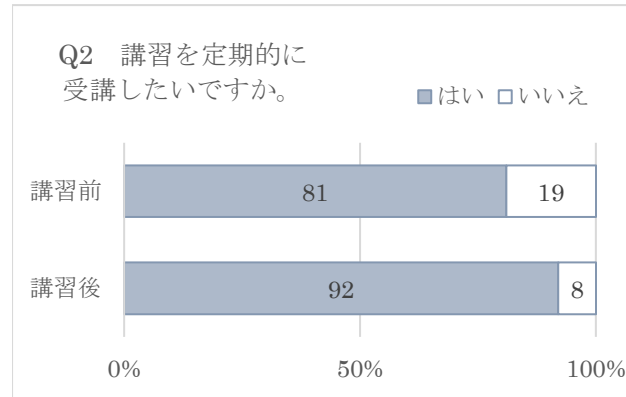
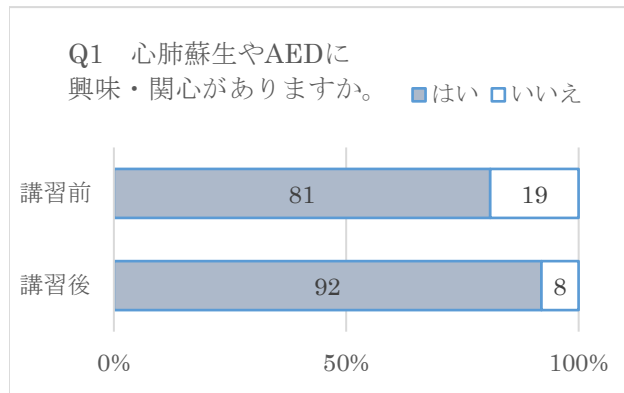


## 令和3年度 第2回 PUSH 講習会アンケート結果

12月7日期末試験最終日に運動部部員44名、希望者8名の全学年52名で短時間救命講習「PUSH 講習会Ⅱ」を実施しました。  
今回、参加できなかった皆さんは、令和4年7月「PUSH 講習会Ⅰ」に参加して「胸骨圧迫とAEDの使い方」を是非、身につけてください。

### 【意識の変化】



例年、受講前アンケート Q1～3 に「はい」と答える生徒はいずれも 60%程度です。今回参加した運動部部員は、受講前から「心肺蘇生を身につけること」について意識は高いものの、家族や友人に講習を勧めることについては消極的でした。ところが、講習後は Q1 や Q2 よりも、Q3 の救命の現場で最も重要な「周囲との協力」の大切さを実感してくれました。胸骨圧迫の手技もよくできている生徒が多く、真剣かつ和やかに取り組む姿が見られました。救命の現場では勇気をもって倒れている人に声をかけ、胸骨圧迫と AED で命を救うことを「他人事」ではなく「自分事」として捉えてくれたようです。



写真は PUSH 講習会のイメージです。

**【知識の変化】** 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

- ① 心臓突然死はもともと心臓に疾患がある人にだけ起こる。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約1%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合は胸骨圧迫をしない。
- ④ AEDは医療関係者以外は講習を受けていないと使用してはいけない。
- ⑤ AEDは心電図を解析した後、全ての人に電気ショックをしてくれる。
- ⑥ AEDによる電気ショックの後、意識が回復したら誤作動を防ぐためにパッドを外す。

《回答と正答率》

- |   |     |     |         |          |
|---|-----|-----|---------|----------|
| ① | いいえ | 正答率 | 受講前 94% | 受講後 100% |
| ② | いいえ | 正答率 | 受講前 39% | 受講後 94%  |
| ③ | いいえ | 正答率 | 受講前 39% | 受講後 92%  |
| ④ | いいえ | 正答率 | 受講前 96% | 受講後 100% |
| ⑤ | いいえ | 正答率 | 受講前 81% | 受講後 95%  |
| ⑥ | いいえ | 正答率 | 受講前 19% | 受講後 92%  |

### 【生徒の感想】(一部抜粋)

- ・胸骨圧迫とAEDの大切さがわかりました。ただ、理解しただけではダメなので、今日習ったことを「する」勇気が一番大事だと思いました。
- ・知らなかったことを沢山知ることができた。いつ、誰が、どこで心臓が止まるかわからないので、怖いと思った。
- ・AEDと胸骨圧迫がどれだけ大事で、本当に人を助ける手段であることを改めて学びました。本当に自分のためになりました。そして、救急救命士という仕事に興味を持ちました。人を救うために勇気を持ちたいです。
- ・3つのPUSHで人の命を守ることができることを知りました。学んだことを活かせるようになりたい！
- ・行動することの大切さ。自分をPUSH。その場に居合わせたら最善を尽くしたい。

《他にもたくさんの素晴らしい感想をもらいました。》